

令和 6 年度の研究(または活動)内容

2024 年度は、主に3つの調査・研究活動を行なった。

(1) 農村景観の調査

- ・世界農業遺産「大崎耕土」の屋敷林に関するマニュアルの作成

世界農業遺産「大崎耕土」における屋敷林について、生物多様性の担保の観点から調査を行い、その成果として「大崎耕土「居久根」保全マニュアル」へ援用され地域への公開還元を行った。



(2) 都市景観の調査

- ・旧街道沿いの町並みの構成要素とその変容に関する研究

仙台市長町にて都市景観の調査活動を行った。また、太白区より、模型制作業務を受託し、実践的研究活動として遂行した。これらの成果は、太白区で区長および職員の皆さんに共有公開したほか、せんだいメディアテークにて一般に広く情報公開を行った。



- ・旧城下町の歴史的建造物の調査と町並みの変遷の考察

白石市にて歴史的町並み景観の調査活動を行った。これらの成果は、科研研究会・研究報告会 などの場で情報公開共有を行い、地域への公開還元活動も進んでいる。



(3) 農村景観の保全 WS

名取市に現存する茅葺民家の活用を企画実施、太白区生出地区にある農家の小屋の活用を企画実施。ここでは、学生らの学びの場として建物の改修作業や各種企画をセルフビルド形式にて実施。これらの活用は、地域の皆さんに当該地域における景観要素としての魅力を発信する機会になると考えている。

